ロービジョンフォーラムin宇部 2023とアンケート結果の報告



福村眼科　　　　福村美帆

2023年1月15日『ロービジョンフォーラムin宇部2023』が開催されましたので、ご報告致します。山口県ロービジョンケアネットワーク（会長は大西徹先生）が主催で、日本眼科医会共催のもと、宇部市総合福祉会館で開催されました。今回は75名の方が来場されました。まだ新型コロナ感染が2類相当でしたので、スタッフやご来場いただく皆様にはマスク着用と消毒検温を徹底していただき、感染対策を入念に施して開催しました。
　全国より14社の企業に出展していただき、拡大読書器、ルーペ、遮光眼鏡、音声機器、白杖など様々な機器や便利なグッズ等を展示していて、どのブースも業者の方の手厚い説明もあり終始大賑わいでした。

今回は視覚障害のある方へパソコンやスマホのサポートをする団体、下関障害者パソコンサポーター（SSPS）の方にも来ていただき相談に乗っていただきました。SSPSは主に下関市で活動しておりますが、県内に視覚障害者向けのパソコンボランティアがおられないので、依頼があれば訪問することもあるそうです。利用料が、訪問時1回500円（別途交通費1km10円で計算）、教室の場合は1回300円で活動されております。事務局のメールアドレス（ssps@mbn.nifty.com）です。

また、今回も白杖の歩行体験コーナーも行われていました。白杖といっても色々あり、折りたたみ式や、下にコロコロが付いて動かしやすいもの、重さも様々でした。山口県盲人福祉協会の歩行訓練士2名の方が丁寧にアドバイスしてくださいました。白杖も消耗品ですから新調したい際に、より使いやすい杖の相談など人気があります。これから白杖が必要になりそうな方や抵抗感がある方にも、導入としてはよい機会です。それから、今回もロービジョンケア関連動画の上映をしました。実際に見えにくい方の生活の工夫の様子や、サウンドテーブルテニスなどをしている様子、スマホの便利機能についてなどが上映されていて、見ている方も何かヒントを見つけている様子も伺えました。今回初の試みとして、身体を整える簡単体操のコーナーを設けました。見えにくい方は、運動する機会も減ります。トレーナーの方に自宅でもできる身体の動かし方を教えていただきました。このコーナーの良いところは、当事者も晴眼者である付き添いの方や私たちスタッフも一緒にでき、おしゃべりも交えながら皆さんが笑顔で身体を動かせるところです。またこのコーナーも続けていければと思います。次回は、盲導犬体験も予定しております。今後は視覚障害者スポーツとして、ブラインドマラソンやタンデム自転車の体験もやっていければと思います。

続いて、今年の6月30日～7月2日に開催された日本ロービジョン学会で発表した内容をご紹介させていただきます。直近の山口県内で2回開催したロービジョンフォーラムのアンケート結果をまとめました。2022年4月の下関市での開催には79名、2023年1月の宇部市での開催には75名が来場し、来場者にアンケートを行いまいした。アンケートの主な項目は年齢・居住地・参加のきっかけ・興味内容・今後の開催への希望です。結果として、各会場でそれぞれ45名と51名、計96名から回答を得ました（回答率62％）。参加者の71%が満足、26%がやや満足と回答しており、特に福祉機器展示が好評でした（67％）。参加のきっかけは眼科や当事者団体からの勧めが多かったですが、ポスターやSNSで初めてフォーラムを知って参加したという回答もあり、事前の告知や告知方法も考える必要があります。一般の方がよく見る市報やフリーペーパー、当事者団体や当事者個人からの発信なども必要だと感じております。同時に、日頃眼科に来る患者さんで見えづらい方に直接チラシを渡してもらうなど、私たち眼科医からの声かけが大切だと思っております。当院では視覚障害者の手帳取得者のリストアップをしており、直接お知らせを郵送したりしております。アンケートの自由回答欄では「直接業者と話ができたのが良かった」「開催場所が近ければまた来たい」「当事者同士の情報交換の場が欲しい」もありました。当事者によるピアカウンセリングや社会保険労務士による障害年金相談会なども希望があり、是非やっていき、充実したロービジョンフォーラムにしていきたいと考えています。アンケートより、居住地は開催地の隣市までが多く、また交通機関がより良い場所での開催がよいため、山口県内での巡回開催がやはりよいと思われます。スマートサイトも山口県は西部・央部・東部と3カ所に分け限られたマンパワーの中でできるだけ地域密着型にしております。

　次回のロービジョンフォーラムは、初の山口県東部の周南市での開催が決まりました。2024年1月21日（日）に周南市徳山社会福祉センターで行います。年に1回の開催ですので、多くの方に来られるように是非先生の方からもお声がけをよろしくお願いいたします。

同時に、ロービジョンケアは大事な眼科医の仕事だと思いますので、この機会に新しい福祉機器を知っていただき、見えづらい方へのアドバイスを先生方からも発信して頂ければとても思いますので、先生方のご参加もお待ちしおります。






















